

北部中学校の様子

北部中 学校教育目標
夢に向かって
たくましく
生きぬく生徒



北部中、よろしくお願ひします。

これまでの連携から

1 コロナ禍で見えてきた課題

★学校にお越しいただいての連携、支援は、実現不可能が多くなってしまった。



この3年間で見えてきた課題として、地域との連携において「学校にお越しいただいての連携、支援は、実現不可能が多くなってしまった。」ということが挙げられます。

(写真はかつての連携場面です)

1 コロナ禍で見えてきた課題

- ・総合の学習の時間は、できる範囲でお願い。
- ・職場体験学習は、できたとしても体験させていただける職場が限定。
- ・コミュニティスクールに関して、5つの地区にまたがっているため、どうしても小回りがきかないことも。



その他としては、

- ・総合の学習の時間は、できる範囲でお願いしたとか、
- ・職場体験学習は、できたとしても体験させていただける職場が限定的だったとか、
- ・コミュニティスクールに関して、北部中は5つの地区にまたがっているため、どうしても小回りがきかないことも挙げられます。

2 生徒会の新たな動き

(1) 毎年同じ反省の言葉

- ・令和2～4年度 12月の生徒総会にて
「…今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、地域の方々と交流を深めることができなかった…」

(2) 新たな動き

- ・令和2年度 できなかった
- ・令和3年度 できなかった部分はあるが、できることを考えた。
- ・令和4年度 「どうやったらできるか」を常に考えた。

各委員長の発表に「コロナ禍」という言葉が何回も登場したが、想定外・予定外のことにもよく対応。「どうやったらできるか」を考えた。

そんなコロナ禍ですが、生徒会で次のような動きが出てきました。

毎年同じ反省の言葉ではありましたが、一方で、令和4年度は、コロナに立ち向かいながらどうすれば実現可能かという前向きな発想で活動しました。

（生徒の言葉）

- **コロナ禍ではあったが今までと変わらず行事を開催することができた**
- **自分には何ができるかを考えて行動していった**
- **タブレットを使った議案書を見ながらの総会だった**
- **今年は「くまステ」を行うことができた**
- **壮行式を体育館で行うことができた**
- **過去2年間完全なやつがね祭を経験したことがなかったが、自分たちで考えて行った**

（生徒の言葉をご覧ください）

（生徒の言葉）

・「いくら大きな壁にぶつかってもどこかに正解はある。だから、下を向かずに先の未来を願ってまずはやってみることが大切である。これからの生活も、新しいことを恐れずに過ごしていきたい。」

特に今年度の卒業生は、全国で臨時休業を行っているときに入学した生徒だったが、前向きに、そして逆境に立ち向かって取り組む姿を後輩に見せてくれた。

（生徒の言葉をご覧ください） 力強い言葉です

**コロナ禍の3年間、
子どもたちは、新たに羽ばたいていく力を
蓄えていた。**

- **子どもたちをパートナーとして**
- **地域づくりの担い手としての期待**



これらから、「子どもたちは、新たに羽ばたいていく力を蓄えていた。」と言えます。

私は、そんな生徒をたいへん頼もしく思いますし、パートナーとして、今後の学校づくり、そして地域づくりの担い手として期待しています。

これからの連携・僕たちの まちづくりは



そこで、これからの連携・僕たちのまちづくりは、ということで、次を考えています。

(1)令和5年度生徒会長の願いから

・来ていただいて〇〇

→参加(よばれる) →参画(出向いて一緒に)

**(2)持続可能な社会づくりに向けて、中学生は
貴重なまちづくりの担い手**

例:防災、運動会、お祭り、文化祭等

(3)課題解決に向け、自ら行動し、人と人がつながって協働的に学ぶ

→自分の生き方や、自分たちが生きていくまちの未来を考えることに

(1)令和5年度生徒会長の願いから

・来ていただいて〇〇から

→参加(よばれる) →参画(出向いて一緒に)

(2)持続可能な社会づくりに向けて、中学生は貴重なまちづくりの担い手

例:防災、運動会、お祭り、文化祭等

(3)課題解決に向け、自ら行動し、人と人がつながって協働的に学ぶ

→自分の生き方や、自分たちが生きていくまちの未来を考えることに

(4) 令和5年度生徒会(案)

R5.2.12

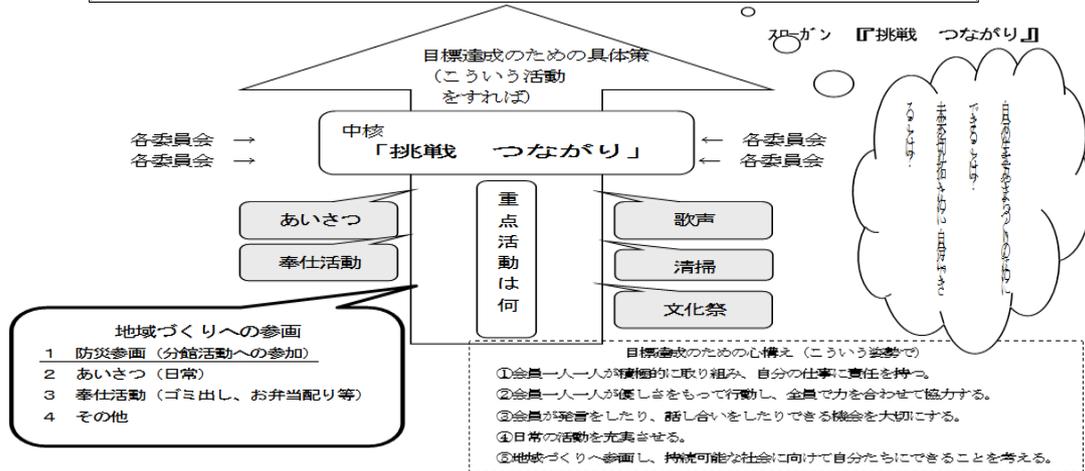
令和5年度 北部中学校生徒会「公民館とともにやりたい地域づくり活動(案)」

北部中学校 生徒会

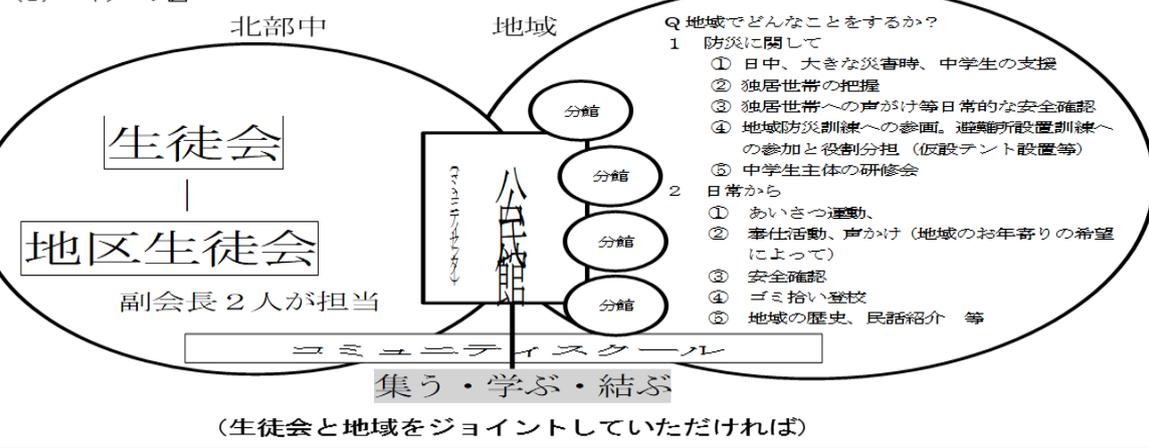
1 令和5年度生徒会<目標図> 案

【茅野市教育の目指す姿】「自分の生き方・自分たちが生きていくまちの未来を描く」

目標 『 思いを継承し、未来を切り拓く生徒会 』(案)
 テーマ ～ “挑戦” つながり・つなげる・つながる ～



2. R5年度生徒会活動 地域づくりへの参画の具体



その具体の計画です。(少し見づらく申し訳ありません。)

令和5年度の重点6つのうちのひとつに「地域づくりへの参画」が入っています。

これについては、2/12の公民館館長主事研修会で、生徒会長がお願いさせていただきました。

地域の学びの場である公民館の皆さんにお力添えいただき、公民館とともに地域づくり活動を行いたいと考えています。

特に、防災を通した学びができないかと考えております。

～ 3学期生徒総会(3/2) により決定 「令和5年度、地域づくりへ向けて、私たちには 何ができるか考えましょう…」



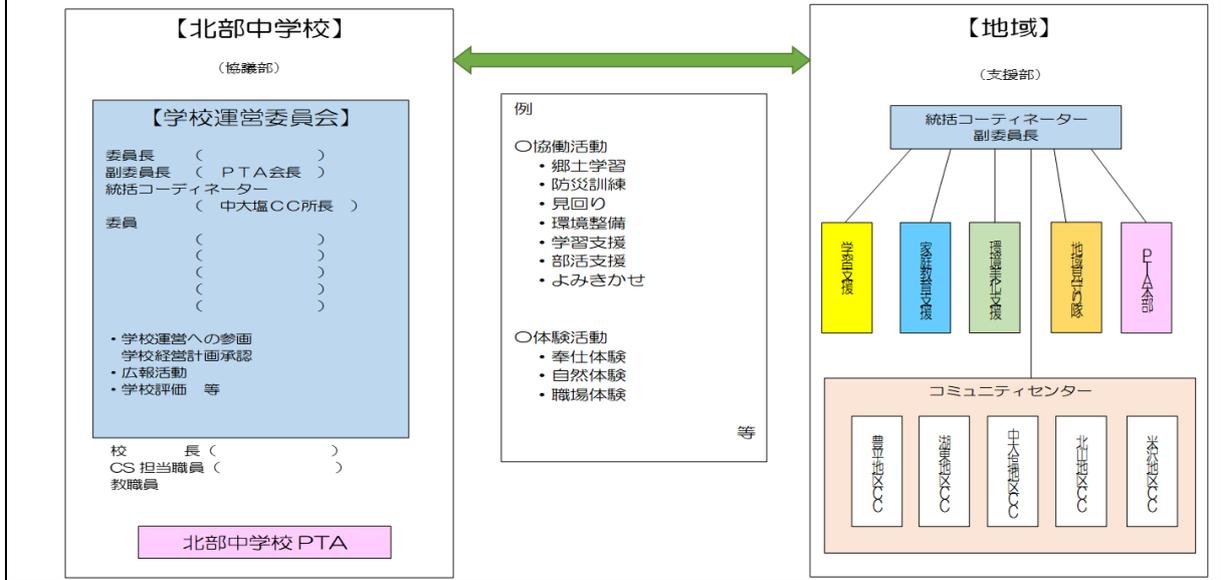
3学期の生徒総会では、令和5年度地域づくり参画へ向けての取り組みが決定し、そのための話し合いが行われました。「私たちには何ができるか考えましょう」という討議の柱で行われましたが、たくさんの具体案が出されました。これを元に、4月以降、活動をしていきます。

私は、生徒とともに学校をつくり、地域づくりへ参画していくことを頑張りたいと考えています。

これからの北中CSも

- ①連携の「結び直し」 組織のスリム化
- ②形も大事だが、形だけにとらわれないように

令和5年度 北部中学校 学校運営委員会 組織図 案



それに合わせて、北部中学校コミュニティスクールの整備も進め、生徒会と学校と地域が一体となった連携を進めていきたいと考えます。その時は、お力添えをよろしくお願いいたします。